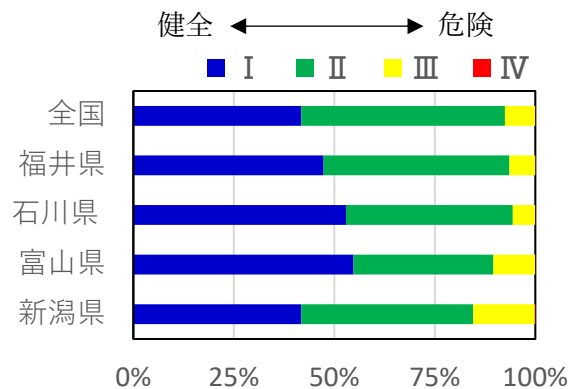


北陸 SIP の記者レクチャー開催案内の補足説明資料

埼玉県八潮市の道路陥没事故のように、地方自治体のインフラの維持管理は、社会的課題として顕在化しつつあります。環境作用の過酷な北陸地方では、第3期 SIP「スマートインフラマネジメントの構築」のサブ課題 C として、地元の大学・高専が連携し、市町との共創体制の下で、道路インフラの維持管理に関する技術・仕組みの高度化・効率化ならびにその実装に向けた人材育成と活用に取り組んでいます。さらに、DX（デジタルトランスフォーメーション）を活用した地方創生の一環であり、世界的にも先進性の高い活動として国際展開も図っています。同時に、令和6年元日の能登半島地震の被災地である市町を対象に、災害時の道路インフラの復旧への応用も図っています。



塩害劣化して鉄筋が破断した道路橋



市町村道の橋梁の健全性

令和5年11月から、小テーマ A~H の個々の研究活動や3回に亘る全体会議等を踏まえて、成果の見込みができてきました。そこで、時宜を得た社会課題に対する北陸地方の取組みを、広く市民に知って頂きたく、社会インフラのメンテナンスに興味のあるマスコミへ活動概要を説明させて頂く機会を設けます。

小テーマ

		全体総括
A	短支間コンクリート橋の維持管理の効率化・高度化	1 終局状態の構造的検証
		2 非破壊による点検・診断
		3 タブレット点検の改良
		4 補修方法の評価
		5 塩分作用の評価
		6 実橋での耐荷性評価
B	長支間橋の支承に対する予防保全の効率化・高度化	
C	トンネルの維持管理の効率化・高度化	
D	舗装の維持管理の効率化・高度化	
E	戦略的維持管理に資するデータ創出	1 社会的重要性の評価
		2 迂回路の遠近の評価
		3 デジタルツインによる中長期予測法の開発
F	モデル市町での実証	1 EBPM 試行
		2 海外における事業例調査
		3 モデル市町での試行
G1	制度・社会的受容性の課題発見と解決策検討	
H	市町職員への教育	
H'	人材育成プログラムの海外展開	

なお、記者レクチャーの午後に同会場で、推進中の情報を共有するおよび今後の研究計画を検討するための、非公開の全体会議を開催します。

第4回 全体会議のプログラム

12:30	開会挨拶	宮里 心一 (金沢工業大学、研究開発責任者)
12:35	ポータルサイトの説明	岡本 萌 (日本工営)
12:45	小テーマ A の進捗および計画の説明	A 全体 伊藤 始 (富山県立大学)
	A1	柳田 龍平 (金沢大学)
	A2	内田 慎哉 (富山県立大学)
	A3	井林 康 (長岡工業高等専門学校)
	A4	花岡 大伸 (金沢工業大学)
	A5	中村 文則 (長岡技術科学大学)
	A6	鈴木 啓悟 (福井大学)

休憩

14:20	小テーマ E3 の進捗および計画の説明	中津井 邦喜 (日本工営)
		山本 知仁 (金沢工業大学)
14:50	小テーマ B の進捗および計画の説明	田中 泰司 (金沢工業大学)
15:05	小テーマ C の進捗および計画の説明	水口 尚司 (㈱エヌイーエス)
15:15	小テーマ D の進捗および計画の説明	高橋 茂樹 (金沢工業大学)

休憩

15:40	小テーマ E1 の進捗および計画の説明	寺山 一輝 (石川工業高等専門学校)
15:55	小テーマ E2 の進捗および計画の説明	井林 康 (長岡工業高等専門学校)
16:05	小テーマ F の進捗および計画の説明	F1 大澤 潤 (金沢工業大学)
	F2	藤倉 修一 (宇都宮大学)
	F4	平野 綾子 (㈱アイ・エス・エス)
16:35	小テーマ G の進捗および計画の説明	G1 出原 立子 (金沢工業大学)
	G2	門馬 真帆 (㈱アイ・エス・エス)
17:00	小テーマ H の進捗および計画の説明	H 塩谷 亨 (金沢工業大学)
	H'	西田 孝弘 (静岡理工科大学)

17:25 全体の質疑応答

17:45 閉会挨拶 木村 嘉富 (橋梁調査会専務理事、サブ Program Director)
(内容および時間は、都合により変更することがありますので、予めご了承ください。)

【参考 URL】 SIP スマートインフラ <https://www.pwri.go.jp/jpn/research/sip/index.html>

北陸 SIP <https://hokuriku-sip.com/>

金沢工業大学からのニュースリリース https://www.kanazawa-it.ac.jp/kitnews/2023/1212_sip.html